



題字は、校歌（玄閑掲額）より

令和6年
1月9日（火）

未来をたくましくきり拓くために

三学期が始まりました。始業式では、講話の冒頭、「なぜそうなのか」理由を問うこと
「どっちがよいのか」判断すること
「本当にそうなのか」問い返すことの重要性について、改めて説きました。

今学期、本校区では、全中学生と小学校六年生をリモートで結び、「君たちはどう生きるか（仮）〜地域住民の一人として〜」と題し、地域の課題（人口減少・活性化対策）について話し合う場を設定する計画を進めています。

この取組のねらいは、左記のとおりです。

- 自分たちの住んでいる地域の現状や課題・今後の見通しを科学的に正しく認識する
- 地域活性化の取組を知るところを契機とし、地域住民としての自己の生き方を考える

右の二つを通して、地域の担い手となるべき児童・生徒が地域住民としての**当事者意識**を高めるとともに、将来の自分像や生き方について**主体的に考える資質・態度**を養いたいと思います。

本年度、社会科の自由研究において、「水沢の人口はどうして減るのか?」「空き家増加の原因を探る」など、問題を主体的に選択して追究した作品も見られました。こうした問題意識をこの取組の中で共有したいものです。

年末に、地域における名産品の創出（「ワイ

プロジェクト」に関わる地元企業の方と懇談したところ、本取組が話題となりました。その中で、ご示唆いただきましたのは、

○地域の現状や課題・今後の見通しを負の面だけを見て悲観的に捉えてはならない

○物事は多様な視点・価値観から柔軟に思考・発想し、解決することが大切である

という二点でした。このことを冒頭の三つの問いのもつ意味と重ね合わせ、「未来をたくましくきり拓く生徒」へと成長してくれることを心から願い、話を締めくくりました。

学校評価アンケートの結果（速報値）

二学期末には、本年度二回目の当該アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。年末時点での回収率は約9割で、只今、集計・分析等を進めているところです。

保護者アンケートでは、「部活動（昨年比△4）」「学校指定物品（昨年比+5）」以外の項目は、九割以上の方々から肯定的ご回答をいただきました。ご記名をいただいた方からの**ご意見・ご要望**につきましては、内容に応じて個別に対応させていただく予定です。

生徒アンケートでは、すべての項目で肯定意見が百%近くとなつていますが、記述欄には**環境整備について多くの声**が寄せられています。**冬休み中に図書室前のトイレが洋式化**されたことなどを伝えながら、できうる限りの改善を図つてまいりたいと思います。

なお、結果の詳細及び今後の対応等につきましては、後日ご報告させていただきます。

【3学期のおもな予定】

- 1/9 始業式
- 10 みえスタディ・チェック（2年）
- 17～ 卒業試験（3年）
- 30 キャリア教育講演会（1・2年）
- 2/2 CS委員会
- 5～ 県立高校前期選抜（3年）
- 6～ 自然教室（1年）
- 13 「君たちはどう生きるか（仮）～地域住民の一人として～」(上記)
- 19～ 保護者会（3年）
- 20～ 学年末試験（1・2年）
- 3/7 卒業式
- 11 県立高校後期選抜（3年）
- 21 新入生予備登校
- 25 修了式
- 教育相談週間（予定）

自らを守る想像力・判断力・行動力を

本日、避難訓練を実施しました。今日は「アラート」による緊急情報発信の想定でしたが、年始早々に能登半島を震源に大きな地震もありました。登下校中等の場合も想像し、命を守る判断・行動の準備を呼びかけました。

また、昨年、本市においても豪雪による深刻な被害がありました。暴風雪警報が発表されている場合は**自宅待機**となり、午前七時に解除されていなければ、臨時休校となります。

なお、積雪の状況は地域によつて異なります。**大雪注意報等の段階**でも、十分な安全確認を行つたうえで登校してください。万

一、安全な登校が困難と判断される場合は**自宅待機**し、その旨を学校まで連絡いただきますようお願いいたします。

